## 公 共 事 業 再 評 価 調 書 (3回目 再評価)

主管課: 河川課

	事業概要	事 業 名 : 比謝川河川改修事業				前再評価年度:平成20年度	
1		事業種別 : 広域河川改修事業		事業主体 : 沖縄県		( S54 ~ H30 )	
-		事業箇所 : 沖縄市		根拠法令:	河川法	事業期間 : S5	
			(19,977)				(13,200)
		総事業費(百万円):	19,977	費用内訳 :	補助 9/10	事 業 量(m) :	13,200
	(整備目的)	治水安全度の向上を図り、浸水被害の解消を目指す。また、環境に配慮した多自然川づくりを目指す。					
1-	·2 前再評価以降 の計画変更	事業期間の見直し(前回:平成30年度完了 今回:平成35年度完了)					
2	再 評 価 該当項目	■ ① 再評価後一定期間(5年)を経過 □ ② 事業の中止 □ ③ その他( )					
	再評価に至っ た主な要因 (具体的理由)	□ ① 用地取得の困難 □ ② 調査・設計の困難 □ ③ 事業の拡大 □ ④ 予算の確保					
3		□⑤ 手続き・法令の問題 □⑥ 他事業との関係 □⑦ 整備効果の問題					
		■ ⑧ 当初計画が長期間 □ ⑨その他( )					
		事業が平成30年度までの長期計画となっている。					
		項目	事業費(百万円)	整備(km)	用地取得(千㎡)		市街地区間(km)
4	事業の	計画	19,977	13.2	268.1		5.9
	進捗状況	実施済	12,004	7.8	122.6		4.7
	(H25.3 時点)	率	60 %	59 %	46 %		80.0 %
4-	2 前再評価以降 の主な進捗	な進捗 メンサ橋からかやま橋までの約400mの河川改修を行った。					
		_	一般資産	64,509	_	建設費	19,977
5	事業効果の 評価指標	_	農作物	1,411	(2)	維持管理費	6,584
	11   11   17   17   17   17   17   17	_	公共土木施設等 間接被害額	109,277 21,565			
(検	対年 整備期間+50年)	4	间接极音磁 便益(B)	196.762		費用(C)	26,561
( )		(5)	残存価値	247		<b>X</b> /11(0)	20,001
	(基準年 H25)		基準年換算(B)	117,892		基準年換算(C)	31,878
	(単位: 百万円)	費用便益比(B/C	3) = 117,892 / 3	,878 = 3.7			
		① 社会·経済 : 国道330号より下流300m区間について、沖縄市の公園事業と一体的に整備した「水辺プラザ」 が平成21年に完成供用しており、地域の憩いの場、交流の拠点として利用されている。					
6	事業を巡る 状況の変化 (前再評価以降)	② 地元・自治体: 市より、国道330号上流区間の二級河川指定・整備の要請あり。(平成24年二級河川指定)					
		③ 利害関係者: 平成23年10月及び、平成24年10月に沖縄県知事(軍転協)より公共事業の実施に伴う駐留軍					
		用地の一部返還手続の迅速化に関する要請を関係機関へ行っており、今年度も要請を行う予 定。また、平成24年11月には土木建築部単独でも要請を行っている。					
	事業の必要 性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など : これまで集中豪雨による浸水被害が発生し、地元からは現事業区間上流(安慶田地区)の早期整備の要請もあ					
_		ることから、現事業区間の河川改修を進め、計画規模の出水に対して浸水被害の解消を図る。					
<b>'</b>							
		② 事業の効率性(代	替案等の可能性、	コスト縮減):			
		市街地区間(5.9km)においては、整備率80%と事業は進捗しており、現計画を推進することが、効率的である。					
		③ 事業効果の発現状況:					
	国道330号下流側の住吉地区については、水辺プラザの整備により計画規模の出水 れている。						浸水被害が解消さ
-		① 事業計画等:	市街地区間の河川	改修を進めスレレコ	に 米軍其地内に	ついても河川改修	に着手できるよう
8	今後の対応 方針・見通し	① 事業計画等 : 市街地区間の河川改修を進めるとともに、米軍基地内についても河川改修に着手できるよう 調整を進め、平成35年度の完成を目指す。					
		② 対住民関係: 現事業区間の用地取得を鋭意進める。また、整備要請のある国道330号上流区間について、 自治会、地元自治体の協力を得て事業延伸できるよう努める。					
		③ 執行体制等: 現在の組織体制で特に問題なし。					
9	評価	■ ① 事業継続(現計画) □ ② 事業継続(見直し) □ ③ 事業の中止					
	その他	河川は幾つもの市町村を通るため、各々の行政単位に整備のバラツキがあると総体的に綺麗になりにくいため、統一した考えの基に整備を進めてほしい。					
	(前再評価での	一した考えの基に整備	用を進めてはしい。				
	主な意見等)						